



日高支庁長
川端武史



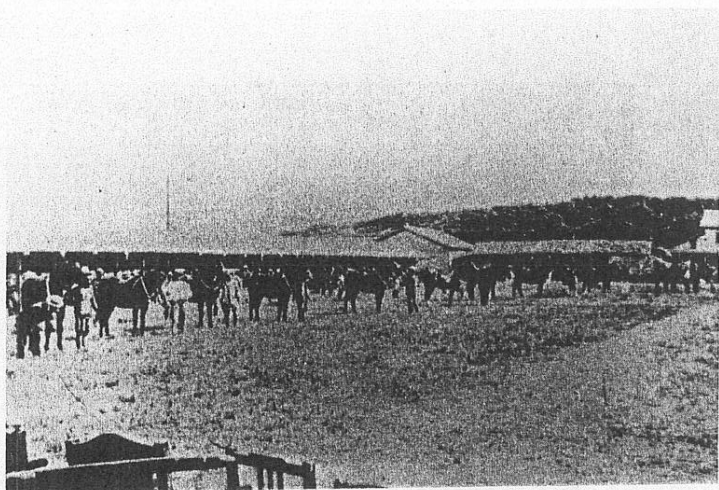
経済部長
三輪崎寿彦



地方部長
高橋重忠



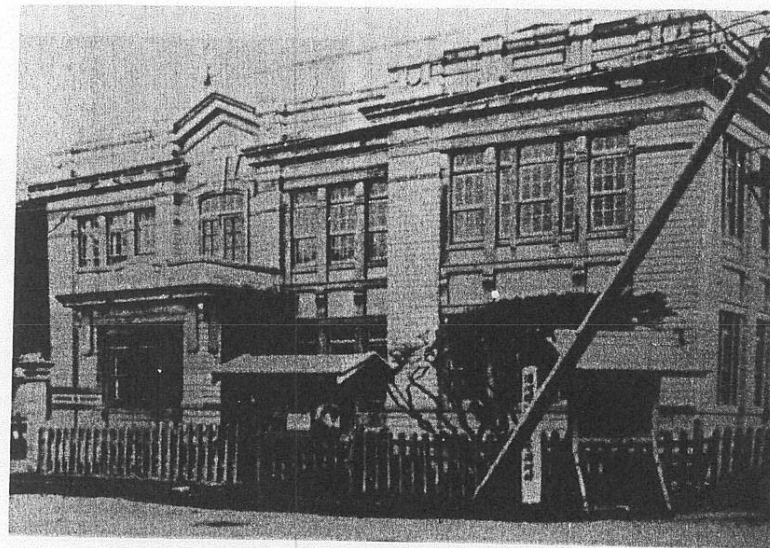
明治35年に西支庁長の創意により、日高実業協会が組織されたが、大正15年に西忠義を囲んで大隈会館前で記念撮影をしたときのもの。



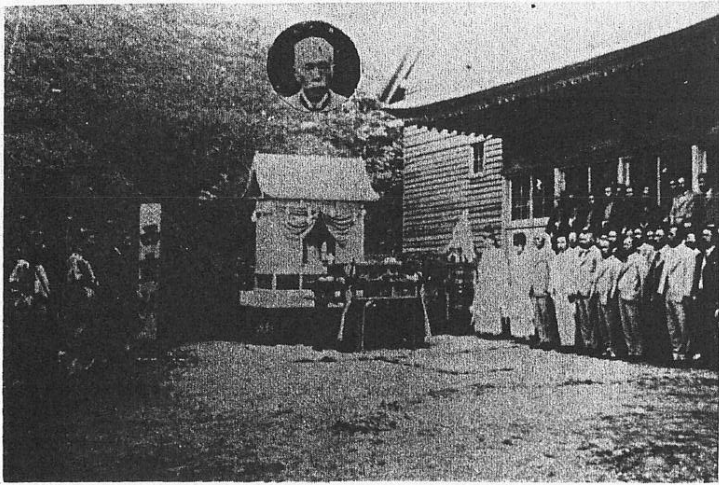
明治末期における日高産馬共進会風景
この頃から馬の飼育が盛んであったことが伺われる。



現在の日高支庁々舎

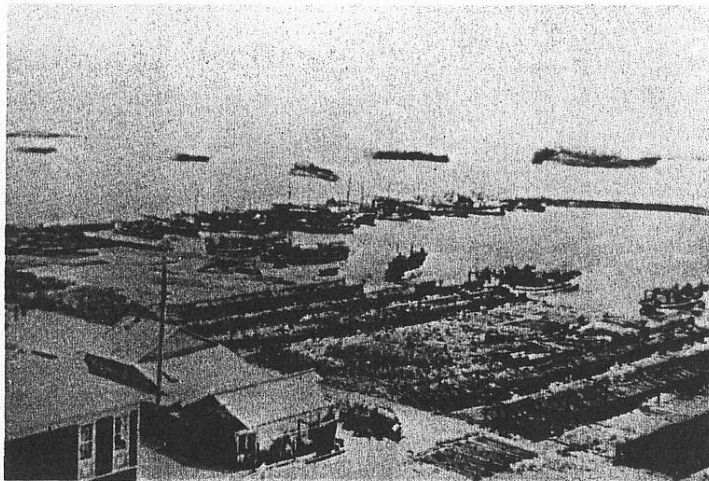


明治41年の大火により焼失して、大正8年に建設された日高支庁々舎
現在は一部が浦河町堺町に移設され博物館として使用されている。

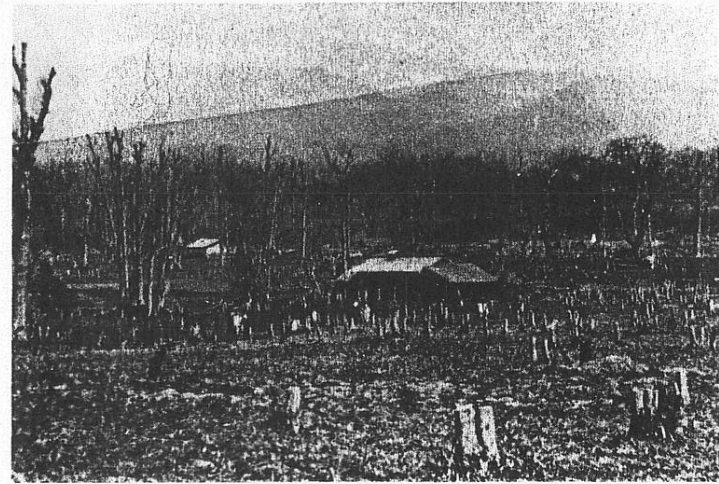


西支庁長は日高管内開発の大恩人として神格化され住民により浦河町に西霊社が建立された。

現在は浦河町字西舎にある。



大正年間の浦河港の風景



大正7年、上野深ヶバウ沢の開墾風景



日高地方米作の祖と云われている互野留作が米作普及のため種粍を提供したことに對して西支庁長よりの感謝狀